

## 韓国航空業界、ウィズコロナに合わせ国際線再開を始動

韓国の航空業界がウィズコロナの施行に合わせ、11月以降の国際線の運航再開に対し、素早い対応に動きだした。

格安航空会社(LCC)であるエアブサンは27日から釜山～ゲアム路線運航を週1回(土曜日)運航すると11月11日に明らかにした。これは新型コロナにより運航を中止してから約2ヶ月ぶりだ。

特に、今回のエアブサンのゲアム路線は昨年4月、地方空港の国際線運航の中止以降、再開される初の観光路線だ。エアブサンは今回のゲアム路線再開を皮切りに、今年中に釜山～サイパン路線をはじめ、国際線の空路を拡大していく方針だ。

エアブサンのアン・ビョンソク代表は「今回の釜山～ゲアム路線の運航は国土交通部と釜山市の積極的な支援と地域の方々からの関心により可能となった」とし、「今回の運航拡大を通じて苦しい現況を過ごしている地域観光・免税業界も徐々に回復していくものと期待する」と語った。



## 11月18日開催「メガショウ」日本自治体が出展、広報を展開

今月11月18日から21日までKINTEX第1展示場で1000社・1500ブース規模で開催される韓国内最大消費型博覧会である「メガショウ2021」に、日本の主要自治体が出展、日本観光及び物産広報を行う。

参加自治体は島根県、宮城・山形県、茨城県、宮崎県、静岡県ソウル事務所、北

道北3県・北海道ソウル事務所の6ブースで、「メガショウ」内の第1展示場5ホールにて同時に開催されるトラベルショウ2021では、メガショーやトラベルショウを訪れる観覧客を対象に、日本の観光や物産を積極的に広報していく予定だ。

メガショウ内で開催されるトラベルシ

ヨー2021は、旅行を直接体験し、その場で手軽に購入も可能とする新概念の旅行博覧会といえ、特色のある国内外の観光地の広報および商品販売が同時に行われる、新しいスタイルの旅行博覧会として韓国内の旅行業界から注目が集められている。

て検討していく計画だ。

アシアナ航空は週3回(火・水・金曜日)運航していたシンガポール路線をトラベルバブルが施行される11月15日から週4回(火・水・金・土曜日)へと1回増便し、12月からは週5回(火・水・金・土・日曜日)へと、さらに1回増やす。

アシアナ航空の関係者は「韓国内のワクチン接種率の増加に伴う旅行心理の回復感に合わせ、国際旅客再開を準備している」とし、「サイパン行き予約率の持続的な増加に伴い、観光商品の拡大や中・大型機種運航の検討など、多角的な努力を傾けている」と語った。

大型航空会社だけでなく格安航空会社まで本格的に国際線就航に乗り出したことで段階的日常回復に入った韓国アウトバウンド旅行業界の負担も、少し軽くなっていくものと期待される。

一方、新型コロナ以前に最大の需要を牽引してきた近距離路線である日本路線においては、日韓両国間の旅行バブルを含む観光目的入国に対する方針が確定しておらず、運航再開まではもう少し時間がかかる見られている。

## エアブサン、11月に日本無着陸観光飛行を運航

エアブサンが11月に無着陸国際観光飛行を全5回運航する。11月の1ヶ月間、金海国際空港から3回、金浦国際空港から2回、無着陸国際観光飛行を行なう予定で、金海空港では11月20日に2便、27日に1便運航し、金浦空港では11月20日と27日に各1便ずつ運航する。

金海空港出発便は対馬上空を経て佐賀・熊本など日本の九州地域を旋回した後、再び金海空港に戻る1時間30分の旅程だ。金浦空港出発便は大邱と釜山を経て、長崎の対馬上空まで行った後、金浦空港に戻る2時間コースだ。

金海空港から出発する11月20日、27日、無着陸国際観光飛行はエアブサンのホームページを通じて自社販売する。片道総額は11万



8700ウォン(約11,500円)から販売し、機内ラッキードローイベントを通じて、国内線往復無料航空券やエアブサングッズなどが景品として提供される。エアブサンの機内免税サイトを通じて最大90%割引価格で免税品も事前購入できる。

残りの3便(金海空港1便、金浦空港2便)はロッテ免税店と協業し、貸切便で運航する。

エアブサン関係者は「昨年12月から始まった無着陸国際観光飛行は累積搭乗率が80%を超えるほど、非常に人気が高い」としながら、「今すぐには行くことができない日本への旅行に、一足早く楽しみたい人にあって魅力的な選択となるだろう」と語った。

## ハナツアー、新たな変化込めたスローガン・CI公開

ハナツアーが企業の方向性を盛り込んだ新たなスローガンとCIを開発した。ハナツアーは「Shape Everyday Dreams」を新たなミッションに定め、「旅行を夢見るすべての人々の旅行をより幸せにすること」を企業の存在理由として定義した。

ハナツアーの象徴だった「パッケージ」旅行を超えて、多様な目的、スタイル、同僚など旅行のスペクトルが拡張された「旅行」そのものを商品として販売し、既存の顧客層をMZ世代まで拡張し、ターゲット別カスタムコミュニケーションを実現していく計画だ。

新たに披露したCIは、このような変化の一環として11年ぶりに交代したものだ。ハナツアードットコムとモバイルアプリも改編した。単純な旅行販売モールではなく、旅行を作り、記録し、楽しみ、共有する旅行プラットフォームとして進化させ、主要旅行地域の情報と商品、そして個人別のカスタム旅行スケジュールを提案し、実際の商品化も可能なスケジューラーサービスも披露していく予定だ。



旅行を象徴する地図とハナツアーを象徴する「H」でハナツアーならではの独創的なシンボルを表現し、既存のハナツアーのカラーを受け継いだ「hanatour purple」は、プレミアム旅行サービス、安全、信頼、専門性を、「hanatour mint」は情熱、挑戦、夢のような旅行、ときめきを意味する。

ハナツアーはハナツアードットコムとモバイルアプリも改編した。単純な旅行販売モールではなく、旅行を作り、記録し、楽しみ、共有する旅行プラットフォームとして進化させ、主要旅行地域の情報と商品、そして個人別のカスタム旅行スケジュールを提案し、実際の商品化も可能なスケジューラーサービスも披露していく予定だ。

## 最新の日本旅行情報 & ニュース満載!

### 日本観光新聞オンライン ニュースプラットフォーム OPEN!

[www.enejsjapan.com](http://www.enejsjapan.com)

日本観光ニュースサイト  
**日本観光新聞**  
ONLINE

QRコード

お問い合わせ先  
代表: 02-737-0534  
取材: news@japanpr.com  
広告: jtn@japanpr.com

### 新しい日韓観光の時代を開く人たち

2004.3.30 創刊/登録番号 서울 라 09528(2004.3.19)  
通巻149号 2021年11月16日 発行

- 発行人: 李漢錫 ■ 印刷人: チャン・ヨンホ
- ・ 代表電話 02) 737-0534 ・ FAX 02) 737-0533
- ・ 購読担当 02) 737-1122 ・ Website [www.enejsjapan.com](http://www.enejsjapan.com)
- ・ 広告担当 02) 737-1122 ・ E-mail news@japanpr.com
- ・〒03167 ソウル市鍾路区社稷路68, 3階

日本観光新聞

## 日本を旅行するときに 韓国人が最初に読む情報紙

日本を 여행하는 사람이  
먼저 읽는 정보지

바로 ‘일본관광신문’입니다.

韓国の約200の日本専門旅行社が日本観光新聞を通して日本全国の観光情報を得ています。  
日本への旅行を計画する人は、日本観光新聞を通して旅行地や旅行商品を選びます。  
日本全国の旅行情報を誰よりも正確でスピーディーに読者へお届けする日本観光新聞で、  
貴地域の観光地を韓国に紹介してみませんか？

전국 약 200개 일본전문여행사가 일본관광신문을 통해 일본 전국의 관광정보를 얻고 있습니다.  
일본으로 여행을 계획하는 사람은 일본관광신문을 통해 여행지나 여행상품을 선택합니다.  
일본 전국의 여행정보를 누구보다 정확하고 신속하게 독자에게 보내드리는 일본관광신문.  
이제, 일본관광신문 ONLINE을 통해 더욱 가까이 만나보시기 바랍니다.

広告のお問い合わせ  
+82-2-737-1122